



HAMAGINSOUKEN NEWS

2006年9月29日

年末に向けて緩やかな改善が見込まれる神奈川県内中堅・中小企業の景況感 企業経営予測調査2006年9月調査結果より

要 旨

景況感

神奈川県内中堅・中小企業の2006年9月末時点における業況判断D.I.（全産業ベース、業況が「良い」－「悪い」、回答社数構成比、%）は▲12と前回6月調査比横ばいとなった。製造業では電気機械が「良い」超に転じたことなどから前回調査の▲6から▲4へ上昇する一方で、非製造業は建設業が上昇したものの、卸・小売が低下したことから▲17から▲18へ業況がわずかに悪化した。

3か月先（2006年12月末）の見通しについては、製造業がわずかに悪化する一方、非製造業が改善することから、全産業ベースの業況判断D.I.値は▲9と9月実績に比べて3ポイントの上昇が見込まれている。

足下における県内中堅・中小企業の景況感は、原材料価格の高騰など経営環境の厳しさが続くなかで、底堅く推移している。今後についても、国内外の景気回復が続くなかで、年末に向けて景況感の改善が続くと見込まれる。

来春の新卒採用計画

2007年春の新卒採用計画について尋ねたところ、非製造業の中堅・中小企業で採用数が大幅に伸びたことから、全産業の採用予定者数は2006年春を15.0%上回った。「採用予定なし」と回答する企業が依然として全体の3分の1を占めるものの、これまで採用を控えてきた中堅・中小企業においても、「2007年問題」への対応などから新卒採用を拡大する動きが広がっている。

【本件についての問い合わせ先】
㈱浜銀総合研究所 調査部 信濃
電 話 045-225-2375(ダイヤルイン)
E-mail: shinano@yokohama-ri.co.jp

企業経営予測調査

2006年9月実施

四半期別（第141回）結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした770社
（うち製造業300社、非製造業470社）

回収率41.3 %（回答企業318社うち製造業148社、非製造業170社）

業況判断D.I.

（2006年9月末）

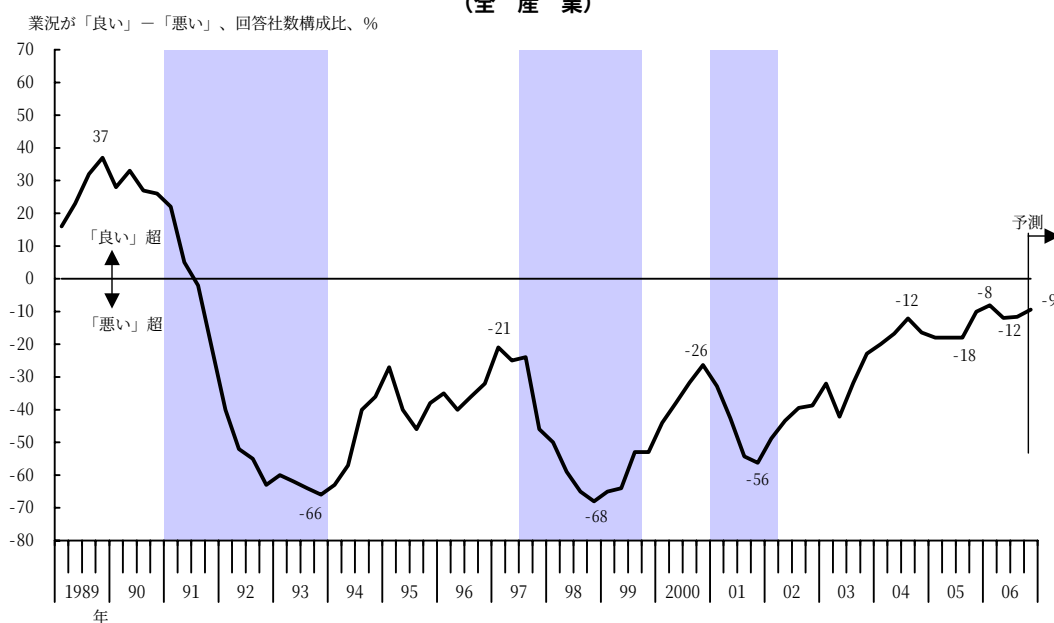
2006年9月末時点の神奈川県内中堅・中小企業の業況判断D.I.（全産業ベース、業況が「良い」－「悪い」、回答社数構成比、%）は▲12と前回6月調査比横ばいとなった。

製造業、非製造業の別にみると、まず製造業は前回調査の▲6から▲4へ2ポイント上昇した。業種別には、仕入価格の上昇によって損益が悪化した一般機械や鉄鋼・非鉄の業況判断D.I.が低下したものの、電気機械については、通信関連機器などに生産拡大の動きが広がっていることから景況感が改善し、+7と「良い」超となった。

一方、非製造業では前回調査の▲17から▲18へわずかに低下した。活発な設備投資を背景として受注が拡大している建設において景況感が改善したものの、天候不順による消費の一時的な減速により卸・小売が前回調査から3ポイントの低下となったことから、全体では前回調査を下回った。

業況判断D.I.の推移

（全産業）



（注1）各年の調査月は3、6、9、12月である。

（注2）シャドーは景気後退期を示す。

(3か月先の見通し)

2006年12月末時点の業況判断D.I.は、全産業で▲9と9月末実績の▲12に比べて3ポイント改善する見通しとなっている。

製造業では、電気機械や鉄鋼・非鉄で低下が見込まれていることから、全体では今回調査の▲4から▲6へとわずかに悪化する見通しとなっている。

一方、非製造業では、運輸・倉庫が「悪い」超に転じるものの、建設の改善が続くことに加えて、消費の持ち直しが期待される卸・小売が改善予想となることから、全体のD.I.値は▲12と年末にかけて緩やかに改善する見通しである。

足下の業況判断D.I.と3か月先の見通し

(業況判断D.I.：業況が「良い」マイナス「悪い」の回答社数構成比、%)

	2006年 3月末	2006年 6月末	2006年 9月末	2006年 12月末 (予想)
全 産 業	▲ 8	▲ 12	▲ 12 (▲ 10)	▲ 9
製 造 業	▲ 4	▲ 6	▲ 4 (▲ 2)	▲ 6
電 気 機 械	8	0	7 (0)	▲ 2
輸 送 機 械	▲ 5	▲ 17	▲ 18 (▲ 13)	▲ 18
一 般 機 械	22	5	0 (0)	0
鉄 鋼・非 鉄	43	56	50 (56)	13
金 属 製 品	▲ 8	10	10 (50)	10
非 製 造 業	▲ 11	▲ 17	▲ 18 (▲ 16)	▲ 12
建 設	▲ 24	▲ 33	▲ 31 (▲ 27)	▲ 28
運 輸・倉 庫	▲ 14	3	4 (6)	▲ 7
卸 ・ 小 売	▲ 15	▲ 30	▲ 33 (▲ 23)	▲ 15
サ ー ビ ス	2	▲ 4	▲ 4 (▲ 13)	▲ 2

(注) カッコ内は前回2006年6月調査時点における9月末予想である。

(トピック)

来春の新卒採用計画について

2007年春の新卒採用計画について尋ねたところ(回答企業309社)、「増加する」と回答した企業の割合は前年から倍増した。一方、「減少する」及び「採用予定なし」と回答した企業の割合は横ばいだったことから、「増加する」と回答した企業の割合から「減少する」及び「採用予定なし」と回答した企業の割合を差し引いたD.I.値は▲20と前年調査の▲34から大幅に改善しており、採用拡大の動きが広がっていることを示している。

また、2007年春の採用予定者数についても、全産業ベースの採用者数は今春を15.0%上回った(回答企業308社)。内訳をみると、非製造業が24.1%増と製造業(4.9%増)を上回る伸びとなっている。特にこれまで雇用人員の拡大に慎重な姿

勢を続けてきた中堅・中小企業が、それぞれ57.1%増、15.8%増と大幅に増加している。

こうした新卒採用の増加の理由としては、団塊の世代の退職に伴う人員補充や従業者年齢構成の若返りといったことに加えて、非製造業を中心に拡販に伴う人員増加の動きが出てきていることがあげられる。

来春卒業予定者の採用計画

(回答社数構成比、%)

今回調査(2006年9月調査)						今回調査(2006年9月調査)				
	増加	横ばい	減少	採用予定なし	DI	今春採用者数	来春採用予定者数	増加人数(人)	増加率(%)	回答企業数
全産業	25	30	12	33	▲ 20	1,470	1,691	221	15.0	308
製造業	22	31	17	31	▲ 26	694	728	34	4.9	143
中小企業	20	30	15	35	▲ 30	353	400	47	13.3	124
中堅企業	25	42	33	0	▲ 8	193	180	▲ 13	▲ 6.7	12
非製造業	28	29	7	35	▲ 14	776	963	187	24.1	165
中小企業	26	23	7	44	▲ 26	177	278	101	57.1	122
中堅企業	36	49	3	13	21	423	490	67	15.8	38
前回調査(2005年9月調査)										
全産業	13	39	4	43	▲ 34					
製造業	13	40	2	45	▲ 34					
非製造業	14	38	5	43	▲ 34					

(注1) D.I. : 「増加」－(「減少」＋「採用予定なし」)の回答社数構成比、%

(注2) 全産業、製造業、非製造業の合計にはそれぞれ大企業を含む。

来春採用増加予定企業の採用増加理由(複数回答)

(回答社数構成比、%)

	1	2	3	4	5	6	回答社数
全産業	74.0	33.8	13.0	7.8	64.9	5.2	77
製造業	77.4	22.6	25.8	6.5	64.5	0.0	31
非製造業	71.7	41.3	4.3	8.7	65.2	8.7	46
中小企業	67.3	30.9	12.7	9.1	69.1	5.5	55
中堅企業	94.1	29.4	11.8	5.9	64.7	5.9	17

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 退職者補充 | 4. 新分野(従来業種以外)への進出 |
| 2. 増産・拡販 | 5. 従業者年齢構成の若返り |
| 3. 研究開発の拡充 | 6. 時短推進 |

以上